

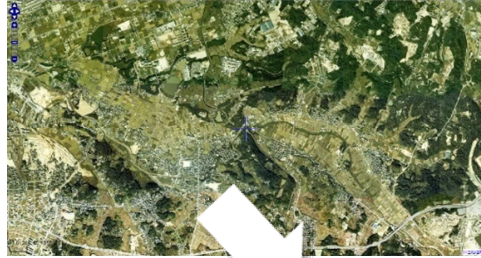
『あなたもしらない長久手“e”ところ』

【まちづくりの変遷・取組から読み解く長久手市の住みやすさ・ちょうどよさ】長湫(くて)(沼・湿地)から長久手へ

【今までのまちづくり】

移り変わる長久手の景色

航空写真や都市計画基礎調査の土地利用図などで市街地の広がりを視覚化



- ①人口の増加
- ②DIDの広がり
- ③自然的土地利用の維持

長久手を作ってきた都市計画の仕組み

- ①近隣住区を基本としたくらしやすいまちづくりを目指してきた。(都計図)
→水と緑を守る都市計画
- ②昭和45年から最新まで主要なエリアや都市施設が維持されている



- (外的要因と都市計画への影響)
- ①バブル景気と市への影響
 - ②愛・地球博の開催
 - ③今に繋がる長久手市の歴史

長久手の声

過去の都市計画担当者インタビュー
「都市計画に込めた思いと苦難」

【今の暮らしの中のまちづくり】

長久手はなぜ住みやすいのか

意外と知らない長久手

- ・国道がない
- ・湫(沼・湿地)から市街地に変換する工夫
- ・時代の波にあった区画整理の実施
- ・美しいまちづくり条例(緑地の確保)
- ・開発協議(事例:イオン)
- ・沿道の植栽(行政境の違い)
- ・何気に災害に強いまちづくり
- ・その他のまちのみどり
- ・大学、高校など人の出と入りのバランス

環境に配慮したまち「公園西駅」

- ・まちのコンセプトや事業紹介
- ・環境がテーマ
- ・環境万博レガシー
- ・先導住宅エリアの完成



みんな知っている?まちづくりの工夫

●公園西駅周辺地区の取り組み

- ・調整池や公園、駅前などの公共移設に隠れた工夫
- ・IKEA誘致→コスト消費の象徴→欧州企業の環境配慮取組の紹介
- ・地区計画や建築ルール、エリマネなどの目に見えない地域の協力

【これから先のまちづくり】

これからの住みやすい長久手をつくるには?

長久手は将来どうなるの?

長久手市のまちづくりの目指す姿
「総計・都市マスの紹介」

知ってる?

最近のまちづくりの“はやり”

コンパクト
+
ネットワーク

SDGS

人や暮らしを守る
「強いまちづくり」

新しい生活様式
都市としての役割

長久手のいまここがアツい!!

